

応援グッズのアップサイクルプロジェクト “応援グッズ”が生まれ変わるまで”

繊維事業部では、B.LEAGUE B1に所属するプロバスケットボールチーム「シーホース三河」、安城市、株式会社安城スタイルと、シーホース三河の応援グッズのアップサイクルプロジェクト『青援LOOP（せいえんループ）』を開始し、地域社会における繊維製品の資源循環を促進しています。ドゥシン6・7月号では本プロジェクトの概要を説明しました。第2弾の本号では、シーホース三河のプースター（ファン）の皆さまが使わなくなった応援グッズ（Tシャツ、タオル等の繊維製品）を回収し、クラボウ独自のアップサイクルシステム「L∞PLUS（ループラス）」を活用して、再びシーホース三河が販売する応援グッズができるまでの工程や現場で活躍している担当者のコメントを紹介します。

L∞PLUS
製造工程動画



青援LOOP
プロジェクト概要



5 前紡工程【カード・練糸・粗紡】



今回、反毛ワタに含まれる繊維はポリエステル繊維が多く、仕上がった反毛ワタは鮮やかな青色。前紡工程では、綿花由来のワタと混ぜるとき、異素材の混ざり具合、色を均一にしていけるのが注意点。素材に合わせた紡出方法で調整が必要です。

6 後紡工程【精紡・捲糸】



ループラス特有のスラブが糸で発生しがち。糸の欠点が多いため、捲糸工程では感度設定が難しい。最適条件できれいなチーズまで巻き上げます。

※スラブ・・・筋状に太くみえる部分で意図的に作る時もあり
※チーズ・・・精紡を経てきた糸を円筒形に巻き付けたもの

青援LOOPではクラボウだけでなく、地元の企業、タオルを製造する企業、市役所、シーホース三河、そしてこの回収活動に参加した市民の方々が関わることで実施できています。このようなサステナブルな活動は、環境問題への解決や繊維産業におけるリサイクル率への貢献としてはほんの少しの効果かもしれませんが、

しかし、このような取り組みに関心を持つ人がどんどん増えればまた次の新たな活動へと発展していくので、引き続き活動していきます。



紡績課・山口 楓香

第3弾では、応援グッズの販売の様子やプロジェクトに参画されている関係者のコメントを紹介する予定です。お楽しみに！（通信員・守）



前紡工程は、糸を作る上で「基礎」となる工程です。プースターの皆さんに良いグッズをお届けできるよう頑張ります！

（前紡担当・尾崎 文香）

再生した糸を
タオルメーカー
へ納品

ループラスによって生まれ変わった応援タオルは10月販売予定！



※完成品タオルはイメージ図のため、完成品とは異なる場合があります

4 反毛機に生地を投入し開織



生地の裁断後、素材に合わせて反毛機を過去の実績をもとに設定し最適な条件で反毛ワタまで開織します。

ループラス事業において、反毛工程は非常に大切な工程です。力仕事ではありますが、いろいろなグッズを見ながら作業をすることができ楽しいです！
（反毛担当・田中 薫）



3 カット機で生地を裁断



反毛機に投入する前にあらかじめカット機という機械で生地を細かなパーツに切り刻みます。

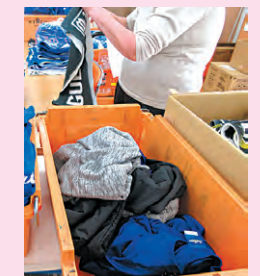
仕分け後の応援グッズが安城工場の反毛工程へ

1 応援グッズの回収からスタート！



約70kgのグッズが集まりました！

2 回収したグッズを選別



工場近隣の就労支援施設「虹の家」の皆さまにご協力いただき、回収したグッズの原料ごとに仕分けを行っていただきました。

綿とポリエステルを仕分けしながら分別し、付属品の除去も